

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
916	哲学 <Philosophy>			講義
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
哲学	田村 均(TAMURA Hitoshi)		後期	火曜：4限
講義題目 Title	人格と行為の理論2			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	日本語および英語の文献を読む授業です。			
授業の目的 Purpose	<p>(1) 人格 (person) とはどのような歴史的背景を持ち、どのような概念内容において定義される存在なのかについて、歴史的・概念的な理解を深める。</p> <p>(2) 人間の行為 (human action) をめぐる哲学的な問題について、理解を深める。</p> <p>The aim of this course is to understand the historical and philosophical background of the concept of person and human action.</p>			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>【内容】アメリー・O・ローティ (Amelie O. Rorty)、チャールズ・テイラー (Charles Taylor)、ドナルド・デイヴィッドソン (Donald Davidson)、ジョン・ペリー (John Perry) などの論文を精読し、議論します。</p> <p>【方法】講義形式と演習形式を併用します。英語文献の訳出と解説、および日本語文献の要約と解説、これらに関する討論、という三つの活動が、授業を展開する具体的な方法になります。これらは講義者 (田村) が行なう場合も、受講生が行なう場合もあります。また、受講生に宿題として課されるときもあります。</p>			
教科書 テキスト Textbooks	授業の内容・方法の欄に記したように、テキストを適宜選定して使用します。			
参考書 References	授業中に、適宜紹介します。			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	授業に出席する前にテキストを熟読し、概括的な理解を得て、不明な点や疑問に思われる点を確認しておくこと。および、宿題として課される文献訳出、文献解釈などの小レポートを、提出期限内に作成し提出すること。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	<p>【方法】(A) 平常の授業への取り組み (訳読や討論への積極的な参加の程度) と、(B) 宿題等提出物の出来ばえ、の二つを合算して評価します。学期末試験は行いません。(A) と (B) はそれぞれ 50 パーセントとして評価します。</p> <p>【基準】(1) 人格 (person) 概念の歴史的・哲学的理解が正確にできているかどうか、(2) 人間の行為 (human action) の概念が正確に捉えられているかどうか、(3) 英語および日本語の哲学的文献が正確に読解できているかどうか、という3点について、到達度を評価します。</p>			
連絡方法 Contact information	電子メールアドレス htamura@lit.nagoya-u.ac.jp 研究室 文学部棟 3 3 1 号室			